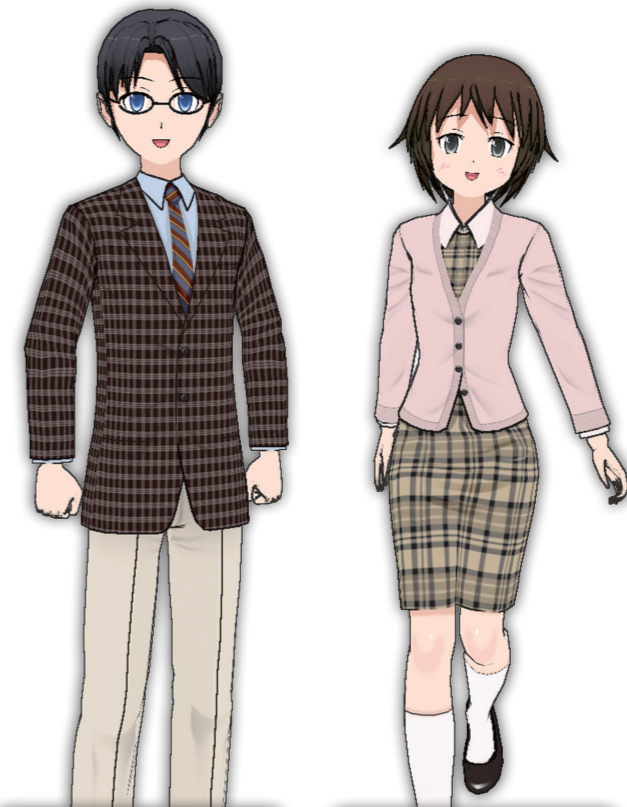


# 倉敷市公共施設等 総合管理計画

マンガで分かる！これからの市公共施設編



くらしき 守

公共施設の維持管理を担当する市職員。愛称は「くらまる」

しらかべ 未来

市職員。守の先輩。正義感が強いが、少しおっちょこちょい？

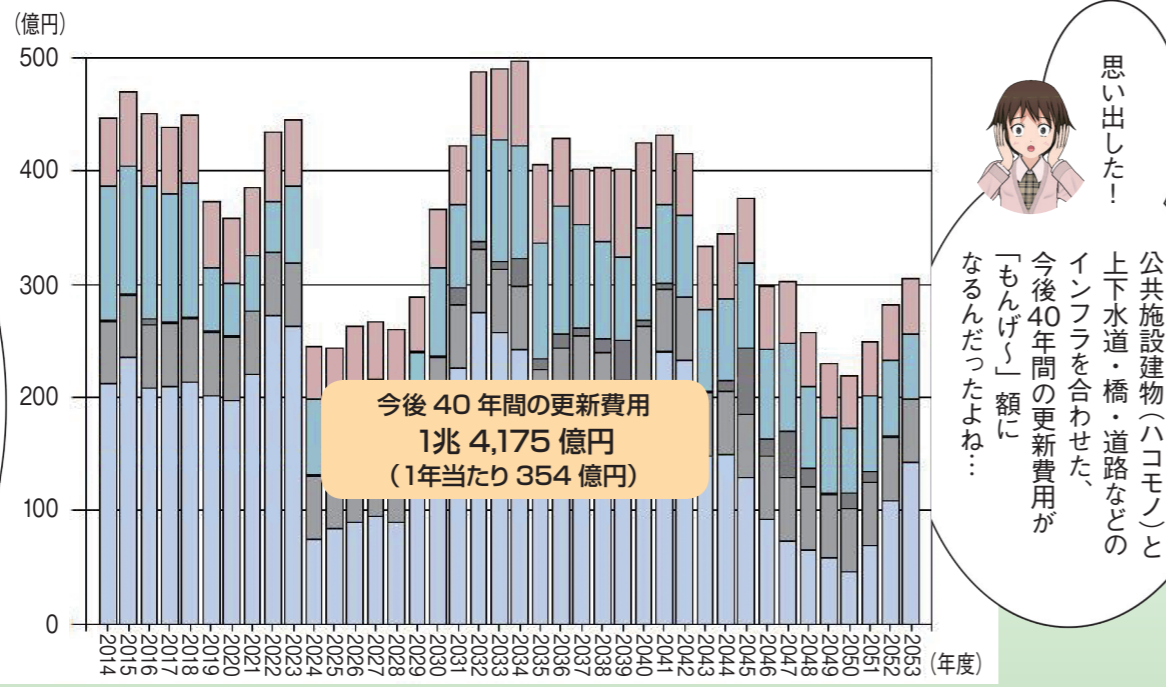
市は、保有する建物や上下水道・橋・道路などの老朽化が進み、それらが一斉かつ大量に更新時期を迎えることで多額の財政負担が想定される「公共施設大量一斉更新問題」に直面しています。

人口減少・少子高齢社会の到来により、税収の減少や社会保障関係費などの支出の増加など、一層厳しい財政状況となっていくことが見込まれます。

私たちは、未来の倉敷のため、市の公共施設を「全体としてどうしていくか」を考えなければなりません。

今後、どれくらいの施設を保有し続けることができるのか、また施設の維持管理や更新について、どういった方針で進めていくのかを示した「倉敷市公共施設等総合管理計画」を見ながら、くらまる君・未来さんと一緒に考えましょう。

☎本庁公有財産活用室 ☎426-3161、市ホームページ番号 79290

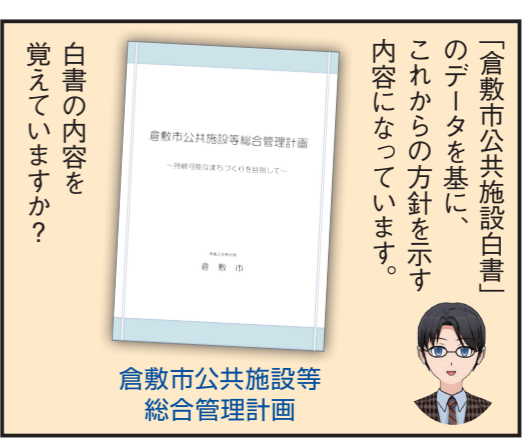
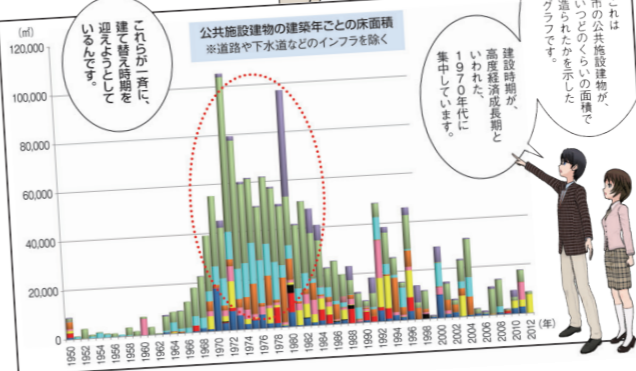


思い出した！  
公共施設建物（ハコモノ）と上下水道・橋・道路などのインフラを合わせた、今後40年間の更新費用が「もんげ〜」額になるんだったよね…

そうです！  
さらにハコモノだけの維持管理費でも、毎年200億円を超える費用がかかります。



今回の公共施設等総合管理計画では、人口減少も考慮した試算をしてみました。  
①60年でハコモノを更新する  
②現在のハコモノの投資的経費（約101億円）を維持できる  
の2つを条件として仮定し、計算したのですが…



「広報くらしき平成26年9月号」より

## 公共施設等全体の方針

- ①施設総量の適正化を推進します
- ②点検、診断等の実施方針を作り、安全・適正な状態を保ちます
- ③既存施設の修繕優先順位づけと計画的な予防保全による長寿命化を推進します
- ④計画的に耐震化を推進します
- ⑤維持管理コストを縮減します
- ⑥市民ニーズの多様化に対応可能な工法の採用を検討します
- ⑦環境への負荷を低減します
- ⑧市民協働・官民連携を推進します
- ⑨全庁横断的で一元的な管理を推進します



はい！  
限られた財源を生かして  
施設総量の適正化や  
施設の長寿命化など、  
市としての大きな方針を  
示しています。



NPO法人TEC.ECO再生機構

市民の目で橋守れ「橋守」サポーター養成事業  
(市民企画提案事業)



保育園や  
幼稚園の統合など、  
具体的な取り組みも  
始まっています！



柳田保育園



柳田幼稚園



柳田認定こども園に統合

こちらの団体は、  
高度経済成長期に  
造られた橋の  
老朽化対策として、  
県や市などの管理者の  
点検を補完する、  
「橋守」サポーターを  
養成しているんだね！

市民団体なども  
がんばってるよ！

それぞれの地域に  
何を残すのか、  
どのように運営して  
いくべきなのか、  
将来のイメージを  
共有していくために  
みんなで議論することが  
大切です。



正解です！

ピポピポーン



安心して暮らせる環境を  
残すためには、  
複合化や多機能化など、  
知恵や工夫が必要だね！

ハコモノだけでなく、  
上下水道・橋・  
道路・公園などを含めて、  
「今」どうするかを考えることが  
将来の負担を大きく減らすことに  
つながるんだね！